

7 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔注意事項〕

- 1 答えは、全て解答用紙に記入すること。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の二種類がある。
- 3 マーク式問題の答えはマーク式解答用紙に、記述式問題の答えは記述式解答用紙に記入すること。
- 4 マーク式問題の答えは、問題で示された解答番号の欄にある数字をマークすること。例えば、解答番号1と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のようにマーク式解答用紙の解答番号1の解答欄③にマークすること。

(例)

解答番号	解答欄
1	① ② ● ④

- 一 次の文章を読んで、あとの問一〜八に答えなさい。(問一〜五はマーク式問題、問六〜八は記述式問題です。)なお、設問の關係で、本文の段落に 1 14 の番号を付しています。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

7

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

7 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答题に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(安藤 宏 「私」をつくる 近代小説の試み」による。)

問一 a 置かれてきた」とありますが、「置かれて」と「きた」の文節どうしの関係として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号1の解答欄にマークしなさい。

- ① 主語・述語の関係 ② 修飾・被修飾の関係 ③ 接続の関係 ④ 補助の関係

問二 b 世、c 背後とありますが、それぞれの本文中における意味と同じ意味をもつものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ選び、その番号を答えなさい。⑥は解答番号2の解答欄に、⑦は解答番号3の解答欄にそれぞれマークしなさい。

- ① 世襲 ② 世論 ③ 世帯 ④ 世代

- c 背後
① 背信 ② 背任 ③ 背景 ④ 背徳

問三 X に当てはまる最も適切な語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号4の解答欄にマークしなさい。

- ① だが ② したがって ③ あるいは ④ すなわち

問四 Y に当てはまる最も適切な語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号5の解答欄にマークしなさい。

- ① 意志 ② 見識 ③ 判断 ④ 裁可

問五 この文章の構成に関する説明として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号6の解答欄にマークしなさい。

① 1段落では小説全体をつかさどる人称の問題を指摘し、2段落ではなぜ近代にそのような問題が起こったかについて、時代背景を基に要因を明示し、3段落ではその問題が起こる前の時代との比較を行っている。

② 4段落では本論である近代小説の人称についての問題提起をし、5、6、7、8段落ではこれを具体的に論じるために『雪国』を提示して、西洋語に対する日本語の客観的視点の優位性を述べている。

③ 9段落では、近代の文学において西洋的な「客観性」がどのような位置付けであったかについて述べ、8段落の末尾で触れた言文一致体が、ここで重要な役割を担っていたことを説明した後、10段落からの自然主義の『描写論』につながる。

④ 10段落から14段落では田山花袋の『描写論』に触れ、「あるがままに写す」と、「ありのまま」をよそおう」との違いを比較して、客観的な事実の提示を知覚動詞で表すことの難しさについて述べている。

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち4)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問六 A こうした制約とありますが、それはどのような制約であると筆者は述べていますか。百二十字以内で書きなさい。答えは

記述式解答用紙に書きなさい。

問七

B 必要に応じて読者と作中世界とをつなぐ「私」をいかに機能させていくかに、日本語の言文一致体小説の成功がかけられていたわけである」とありますが、筆者は14段落より後の文章で、「隠れた「私」が自在に立ち回り、伝統的な和文脈の性格を生かしつつ、同時に世界を統括する主体を求める近代小説の要請にも応えようとしている、と考えるべきなのではあるまいか。」と述べています。これらの筆者の主張を踏まえて、「必要に応じて読者と作中世界とをつなぐ「私」とはどのようなものであるかを明らかにして、次の【資料】における語り手の視点を、【資料】から根拠となる描写を挙げて、具体的に説明しなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

【資料】

それから、何分かの後である。羅生門の楼の上へ出る、幅の広い梯子の中段に、一人の男が、猫のように身をちぢめて、息を殺しながら、上の容子を窺っていた。楼の上からさす火の光が、かすかに、その男の右の頬をぬらしている。短い鬚の中に、赤く膿を持った面皰のある頬である。下人は、始めから、この上にいる者は、死人ばかりだと高を括っていた。それが、梯子を二三段上って見ると、上では誰か火をとぼして、しかもその火をそこそこ動かしているらしい。これは、その濁った、黄いろい光が、隅々に蜘蛛の巣をかけた天井裏に、揺れながら映つたので、すぐにそれと知れたのである。この雨の夜に、この羅生門の上で、火をともしているからは、どうせ唯の者ではない。

下人は、守宮のように足音をぬすんで、やつと急な梯子を、一番上の段まで這うようにして上りつめた。そうして体をできるだけ、平らにしなが、頸をできるだけ、前へ出して、恐る恐る、楼の内を覗いてみた。

(芥川 龍之介 「羅生門」 による。)

問八 ㉞ ㊦ の語について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みを平仮名で、それぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち5)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

二 次の文章を読んで、あとの問一～六に答えなさい。(問一～三はマーク式問題、問四～六は記述式問題です。)

旅人の宿求めけるに、大きやかなる家 I の、あばれたるがありけるによりて、「ここに宿し ① 給ひてんや」といへば、女声にて「よき事、宿り給へ」といへば、皆おりゐにけり。屋大なれども人のありげもなし。ただ女一人ぞあるけはひしける。

かくて A 夜明けにければ、物食ひしたためて出でて行くを、この家にある女出で来て、「B 出でおはせじ。とどまり給へ」といふ。「A こはいかに」と問へば、「おのれが金千両を負ひ ② 給へり。その弁へしてこそ出で給はめ」といへば、この旅人 従者ども笑ひて、「あら、^{注1}しや、^{注2}さんなめり」といへば、この旅人、「しばし」といひて、またおりゐて、皮籠を乞ひ寄せて幕引きめぐらして、しばしばかりありて、この女を呼びければ、出で来にけり。

旅人間ふやうは、「この親はもし易のうらといふ事やせられし」と問へば、「いさ、C さ侍りけん。そのし給ふやうなる事はし ③ 給ひき」といへば、「さるなる」といひて、「さても何事にて千両の金負ひたる、その弁へせよとはいふぞ」と問へば、「おのれが親の失せ侍りし折に、世の中にあるべき程の物など得させ置きて申ししやう、『今なん十年ありてその月にここに旅人来て宿らんとす。その人は我が金を千両負ひたる人なり。それにその金を乞ひて、耐へがたからん折は売りて過ぎよ』と申ししかば、今までは親の得させて侍りし物を少しづつも売り使ひて、今年となりては売るべき物も侍らぬまに、『いつしか我が親のいひし月日の、とく来かし』と待ち侍りつるに、今日に当りておはして宿り給へれば、『金負ひ給へる人なり』と思ひて申すなり」といへば、「金の事はまことなり。さる事あるらん」とて、女を片隅に引きて行きて、人にも知らせで柱を叩かすれば、うつほなる声のする所を、「くは、これが中にたまふ金はあるぞ。あけて少しづつ取り出でて使ひ ④ 給へ」と教へて出でて往にけり。

この女の親の、易のうらの上手にて、この女の有様を ⑤ 勘へけるに、「今十年ありて貧しくならんとす。その月日、易の占ひする男来て宿らんずる」と勘へて、「かかる金あると告げては、まだしきに取り出でて使ひ失ひては、貧しくならん程に使ふ物なくて惑ひなん」と思ひて、しか言ひ教へ、死にける後にも、この家をも売り失はずして今日を待ちつけて、この人をかく責めければ、これも易の占ひする者にて、心を得て占ひ出して教へ、出でて往にけるなりけり。

D 易のうらは、行く末を ⑥ 掌 ⑦ の中のやうに指して知る事にてありけるなり。

(「宇治拾遺物語」による。)

(注1) しや 憎たらしい相手をののしつて言う呼称。こいつめ。

(注2) さん 譏言のこと。

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち6)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問一 ア「こはいかに」とありますが、これの本文における意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号7の解答欄にマークしなさい。

- ① これはどうにもならない
- ② 子供はどうしたのだ
- ③ これは従者に言いなさい
- ④ これはどうしたことか

問二 I「の」と同じ用法であるものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号8の解答欄にマークしなさい。

- ① 草の上に置きたる露
- ② 草の花はなでしこ。唐のはさらなり
- ③ いと清げなる僧の黄なる地の袈裟着たるが来て
- ④ かぐや姫、月のおもしろく出でたるをみて

問三 ④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号9の解答欄にマークしなさい。

- | | | | | |
|---|------|-------|-------|------|
| ① | a 旅人 | b 女の親 | c 旅人 | d 旅人 |
| ② | a 旅人 | b 旅人 | c 旅人 | d 女 |
| ③ | a 女 | b 女の親 | c 女の親 | d 旅人 |
| ④ | a 女 | b 旅人 | c 女の親 | d 女 |

問四 A「夜明けにければ」、B「え出でおはせじ」の現代語訳をそれぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問五 C「さ」とありますが、これはどのようなことを指していますか。二十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問六 D「易のうらはは、行く末を」の中のやうに指して知る事にてありけるなりとありますが、筆者がこのように述べるのはなぜですか。本文の内容に触れて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち7)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔三〕 次の文章を読んで、あとの問一〜六に答えなさい。(問一〜四はマーク式問題、問五・六は記述式問題です。) なお、設問の關係で返り点・送り仮名・符号を一部省略しています。

昔晋ノ^{注1}文公、将^下ニ与^二楚人^一戦^中ハント於^{じやう}城^{ほく}濮^上ニ、召^ニシテ咎^{きやう}犯^{はん}一ヲ而問^ヒテ曰ハク、楚ハ衆ク我ハ寡ナシ、^ア奈何^レ而可ナラント。咎犯対^ヘテ曰ハク、臣聞ク、^{注2}繁礼之君ハ不^レ足^二カ於^三文^一ニ、^A繁戦之君ハ不^レ足^二カ於^三詐^一ニ。君モ亦タ詐^レラン之ヲ而已ト。文公以^テ咎犯ノ言一ヲ告^ニグ雍季^一ニ。雍季曰ハク、^{注3}竭^つレクシテ沢ヲ而漁セバ、^X豈^ニ不^二ランヤ獲得^一セ、而レドモ明年無^レカラン魚。焚^やレイテ藪^{そく}ヲ而^{注4}田^{かり}セバ、豈^ニ不^二ランヤ獲得^一セ、而レドモ明年無^レカラン獸。詐偽之道ハ、雖^モ今^{しやう}儉^{けん}ク可^一ナリト、後将^レニ無^レカラント復^ビスルコト、非^ニザル長術^一ニ也ト。文公用^ニヒテ咎犯之言一ヲ、而敗^ニル楚人ヲ於城濮^一ニ。

^Y反^リテ而爲^レスニ賞^ヲ、雍季在^レリ上^ニ。イ左右諫^メテ曰ハク、城濮之功ハ、咎犯之謀也。君用^ニヒ其ノ言一ヲ、而シテ賞スルコト後^ニニス其ノ身^一ヲ。或^イ者不可ナラン乎ト。文公曰ハク、雍季之言ハ、百世之利也。咎犯之言ハ、一時之務也。焉^ン有^下ラン以^ニテ一時之務^一ヲ先^ニズル百世之利^一ニ者上^や乎ト。孔子聞^レキテ之ヲ曰ハク、臨^レンデ難^ニ用^レフ詐ヲ、足^ニル以^テ却^レクルニ敵ヲ。反^リテ而尊^レブ賢ヲ、足^ニル以^テ報^レユルニ徳ニ。^B文公雖不終始、足^ニル以^テ霸^一タルニ矣。

(「呂氏春秋」による。)

(注1) 文公 晋の内乱に遭い、諸国を十九年放浪した後、帰国して即位し、名君と讃えられた。

(注2) 繁礼 煩瑣な礼。

(注3) 文 礼を飾ること。

(注4) 竭 干す。

(注5) 田 狩り。

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち8)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問一 ア 奈 何の本文中における送り仮名も含めた読み方として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号10の解答欄にマークしなさい。

- ① いくばくぞ ② いかにして ③ いかんせん ④ なんすれぞ

問二 イ 左 右の本文中における意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号11の解答欄にマークしなさい。

- ① 平民 ② 上司 ③ 側近 ④ 君主

問三 A 繁 戦之君ハ不レト 足ニカ 於 詐ニ とありますが、その解釈として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号12の解答欄にマークしなさい。

- ① 戦争で国が脅かされている君主は、敵に欺かれることに限りがない
② 戦争で自国の武力に自信のある君主は、詐術に頼ろうとしない
③ 戦争に明け暮れる君主は、いくらでも詐術を用いる
④ 戦争によって国の発展を目指す君主は、敵を欺くことを良しとしない

問四 B 文 公 雖 不 終 始 を訓読する場合、「雖」にどのような返り点を施せばよいですか。その返り点として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号13の解答欄にマークしなさい。

- ① 三 ② 下 ③ レ ④ 丁

問五 X 豈ニ 不ニ ラシヤ 獲得一セ、 而レドモ 明年 無レ カラン 魚 の現代語訳を書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問六 Y 反リテ 而 爲レ スニ 賞ヲ、 雍 季 在レリ 上ニ とありますが、文公が雍季を咎犯よりも高い地位に就けたのはなぜですか。その理由を、本文の内容に触れて、百五十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち9)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

四 平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 現代の国語 内容 (思考力、判断力、表現力等) B 書くこと (1) ウ
には、「自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や、文体、語句などの
表現の仕方を工夫すること。」と示されています。生徒が、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を
考えることができるようにするために、どのような学習を行わせることが重要だと考えられますか。具体的に書きなさい。答え
は記述式解答用紙に書きなさい。

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち10)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

【五】 平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 古典探究 内容 「思考力、判断力、表現力等」 A 読むこと (1) ウには、「必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。」と示されています。あなたは、この指導事項に基づいた単元を設定しようとしています。次の表中の【目標】は、この指導事項に基づいて設定した「思考力、判断力、表現力等」の目標、【言語活動】は、【目標】を実現するための言語活動、【評価規準】は、この単元において設定した「思考・判断・表現」の観点に関する評価規準です。また、【ポイント】は、複数の現代語訳を比較しながら読み、内容を解釈し、評価する際の指導のポイントとして設定した事項、【単元の流れ】は、この単元の流れを示したものです。これらについて、あとの「問い」に答えなさい。

【目標】	訳者の考えや意図を捉えて内容を解釈するとともに、表現の特色について評価することができる。
【言語活動】	「源氏物語」を原典とした複数の現代語訳の中から、若紫の巻に登場する少女に関する描写を比較しながら読み、違いを分析し、どちらの訳者による現代語訳を参考にして続きの物語を読んできこうと考えるかを、根拠を明確にして説明する文章を書く。
【評価規準】	「読むこと」において、「源氏物語」を原典とした複数の現代語訳を比較しながら読み、訳者の考えや意図を捉えて内容を解釈するとともに、表現の特色について評価している。
【ポイント】	○ 訳者の考えや意図を捉える際には、文章に表れている、書き手のものの見方、感じ方、考え方を踏まえつつ登場人物の心情を解釈したり人物像をイメージしたりするよう指導を行う。 ○ 表現の特色について評価する際には、文章の修辞など表現の仕方の特色を捉えた上で、登場人物の感情などの内容が効果的に表現されているかという観点から、表現の特色について評価するよう指導する。
【単元の流れ】	【一次】 単元の見通しをもち、教科書を用いて、内容の解釈の仕方や、表現の特色の評価の仕方について学ぶ。 【二次】 【一次】の学習を生かして、複数の現代語訳を比較しながら読んでその違いを分析し、どちらの訳者による現代語訳を参考にして続きの物語を読んできこうと考えるかを説明する文章を書く。 【三次】 お互いが書いた文章を交流して、書き手の考えや意図を捉え内容を解釈したり、表現の特色を評価したりするためのポイントをまとめる。

【問い】 あなたは、この単元の【単元の流れ】に示す【二次】において、「複数の現代語訳を比較しながら読み、違いを分析し、どちらの訳者による現代語訳を参考にして続きの物語を読んできこうと考えるかを説明する文章を書き交流する」ということを学習課題として設定して、【ポイント】を踏まえた指導をしようとしています。次の【教材】は、【一次】で使用する教科書の文章です。【資料Ⅰ】及び【資料Ⅱ】は、【二次】で提示する「源氏物語」を原典とした現代語訳です。これらの資料について【二次】で生徒が、どちらの訳者による現代語訳を参考にして続きの物語を読んできこうと考えるかについて説明した文章として、「おおむね満足できる」状況(B)を満たす文章を具体的に想定し、あとの条件1・2に従って書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

【教材】

清げなる大人二人ばかり、さては、童べぞ、いでいり遊ぶ。中に、「十ばかりにやあらむ」と見えて、白き衣、山吹などの、なれたる着て、走りきたる女、(あまた)見えつる子どもに、似るべうもあらず、いみじく、おひさき見えて、美しげなるかたちなり。髪は、扇をひろげたるやうに、ゆらゆらとして、顔は、いと赤くすりなして立てり。

「何事ぞや。童べと、はらだち給へるか」

とて、尼君の、見上げたるに、すこし、おぼえたる所あれば、「子なめり」と、見給ふ。

受験番号	
氏名	

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

「雀の子を、犬君が逃がしつる、伏籠の中に、籠めたりつるものを」

とて、「いと口惜し」と思へり。此(の)、ゐたるおとな、

「例の、心なしの、かかるわざをして、さいなまるるこそ、いと心づきなけれ。いつかたへか、まかりぬる。いと、をかしう、やうやうなりつるものを。鳥などもこそ、見つくれ」

とて、たちて行く。髪ゆるるかにいと長く、めやすき人なめり。少納言の乳母とぞ、人いふめるは、此(の)子の後見なるべし。

尼君、

「いで、あな、をさなや。いふかひなう、ものし給ふかな。おのが、かく、今日明日におぼゆる命をば、何ともおぼしたらで、雀したひ給ふほどよ。」「罪得ることぞ」と、常に聞ゆるを。心憂く

とて、

「いぢや」

と言へば、ついゐたり。つらつき、いとらうたげにて、眉のわたり、うちけぶり、いはけなくかいやりたる額つき、髪ざし、いみじう美し。「ねびゆかむさま、ゆかしき人かな」と、目とまり給ふ。さるは、「かぎりなう、心を盡くし聞ゆる人に、いとよう似たてまつれるが、まもらるるなりけり」と、おもふにも、涙ぞ落つる。

(「源氏物語」による。)

【資料Ⅰ】

清らかな女房が二人ばかり、それから子どもが出たりはいたりして遊んでいます。中に十ぐらいにもなるでしょうか、白い下衣に、山吹襲の馴れたのを着て、こちらへ走ってくる女の児が、ほかの大勢の子供たちとは似るべくもなく、成人の後が思いやられる美しい器量をしています。扇をひろげたように髪をゆらゆらさせながら、顔を真つ赤にこすりこすり立っています。「どうしたのです。子供たちと喧嘩でもしたのですか」と言つて、尼君が見上げているのですが、すこし似通ったところがあるのは、大方親子なのであろうと御覧になります。「雀の子を犬君が逃がしてしまいましたの、伏籠に入れておいたのに」と、たいそう残念そうに言います。そこにいた女房の一人が、「またあの心なしが、そんな、叱られるような不都合なことをいたしましたか。ほんとうに、可愛くなつておりましたのに、どこへ飛んで行きましたでしょう。鳥などに見つけられなければようございますが」と、言いながら立つて行きます。髪がゆつたりとしてたいそう長く、見苦しからぬ人のようです。少納言の乳母と呼ばれていますのは、この児の世話をする女房なのでしょう。尼君は、「まあ、たわいのない、どうしてそんな幼いことをお言いなのです。私の命が今日明日をも測れないのを、何とも思つて下さらないで、雀を慕つていらつしやるとは。生物を飼うのは罪作りのことですと、つねづね言つて聞かせて上げていますのに、困ったことです」と言つて、「こちらへいらつしやい」と言いますと、そこへ来て坐ります。顔つきがいかにもあどけなく、眉のあたりがほのぼのと匂うようで、振りかかる毛を子供らしく掻き上げてある額つき、髪具合など、非常に美しいのです。大人になつて行くさまを見るのが楽しみのようなと、眼をお留めになります。それというのも、限りもなく心を尽くしてお慕い申し上げているおん方に、たいそうよく似ているせいで、こんなにも見守る気になるのであると、そうお思いになるとたんに、もうおん涙が落ちるのでした。

(谷崎潤一郎「新々訳源氏物語 卷一」による。)

【資料Ⅱ】

きれいな中年の女房が二人いて、そのほかにこの座敷を出たりはいたりして遊んでいる女の子が幾人かあった。その中に十歳ぐらいに見えて、白の上に淡黄の柔らかい着物を重ねて向こうから走ってきた子は、さつきから何人も見た子供とはいっしよに言うことができない麗質を備えていた。将来はどんな美しい人になるだろうと思われるところがあつて、肩の垂れ髪の裾が扇をひろげたようにたくさんでゆらゆらとしていた。顔は泣いたあとのようで、手でこすつて赤くなっている。尼さんの横へ来て立つと、

「どうしたの、童女たちのことで憤っているの」

こう言つて見上げた顔と少し似たところがあるので、この人の子なのであろうと源氏は思った。

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち12)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

「雀の子を犬君が逃がしてしまいましたの、伏籠の中に置いて逃げないようにしてあったのに」
たいへん残念そうである。そばにいた中年の女が、

「またいつもの粗相やさんがそんなことをしてお嬢様にしかられるのですね、困った人ですね。雀はどちらのほうへ参りました。
だいぶ馴れてきてかわゆうございましたのに、外へ出ては山の鳥に見つかってどんな目にあわされますか」

と言いながら立って行つた。髪のゆらゆらと動く後ろ姿も感じのよい女である。少納言の乳母と他の人が言っているから、この
美しい子供の世話役なのであろう。

「あなたはまあいつまでも子供らしくて困った方ね。私の命がもう今日明日かと思われるのに、それは何とも思わないで、雀の
ほうが惜しいのだね。雀を籠に入れておいたりすることは仏様のお喜びにならないことだと私はいつも言っているのに」

と尼君は言つて、また、

「はい」

と言うと美しい子は下へすわった。顔つきが非常にかわいくて、眉のほのかに伸びたところ、子供らしく自然に髪が横撫でにな
っている額にも髪 of 性質にも、すぐれた美がひそんでいると見えた。大人になった時を想像して素晴らしい佳人の姿も源氏の君は
目に描いてみた。なぜこんなに自分の目がこの子に引き寄せられるのか、それは恋しい藤壺の宮によく似ているからであると気が
ついた刹那にも、その人への思慕の涙が熱く頬を伝わった。

(與謝野 晶子 「全訳 源氏物語 上巻」 による。)

条件1 どちらの訳者による現代語訳を参考にして続きの物語を読んでいこうと考えるかについて説明する際は、【教材】、

【資料Ⅰ】及び【資料Ⅱ】の中から根拠を挙げて書くこと。

条件2 どちらの訳者による現代語訳を参考にして続きの物語を読んでいこうと考えるかについて説明する際には、「書き

手の考えや意図」、「表現の特色」の両方の項目を取り上げ、いずれの項目についての言及かが分かるように明示して
書くこと。

氏名

⑦ 高等学校 国語科 マーク式解答用紙

受験番号

0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

一

解答 番号	解答欄
1	① ② ③ ④
2	① ② ③ ④
3	① ② ③ ④
4	① ② ③ ④
5	① ② ③ ④
6	① ② ③ ④

二

解答 番号	解答欄
7	① ② ③ ④
8	① ② ③ ④
9	① ② ③ ④

三

解答 番号	解答欄
10	① ② ③ ④
11	① ② ③ ④
12	① ② ③ ④
13	① ② ③ ④

〔記入上の注意〕

- 余白には何も記入しないでください。
- HBまたはBの鉛筆で該当する○にマークしてください。
マーク例 《良い例》 ●
《悪い例》 ○ / ✕
- 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
- 受験番号については、6桁の数字を記入したうえで、該当する○にマークしてください。

7

(4枚のうち1)

受験番号

氏
名

問題番号					
解答欄					
問一〜五は、マーク式解答用紙に記入すること。					
問六					
問七					
問八					

受験番号

氏名

[illegible]

7

高等学校 国語科 記述式解答用紙

(4枚のうち3)

受験番号

氏名

問題
番号

解
答
欄

四

7

高等学校 国語科 記述式解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号

氏名

問題番号

解答欄

五